独自の技術で未来をひらく
フクビ
フクビ化学工業株式会社
代表取締役社長 八木 誠一郎
〒918-8585 福井市三十八社町33字66番地
TEL.(0776)38-8001(代) http://www.fukuvi.co.jp/

北陸技術交流テクノフェア2018

あす開幕

北陸エリア最大級の技術見本市「北陸技術交流テクノフェア２０１８」が25、26の両日、福井県産業会館（福井市）で開かれる。堅調な景気、北陸新幹線の延伸で高まる地域の魅力を追い風に、出展者数は前回より4社増え、会場内は例年にも増して熱気いっぱい。開催事務局は2日間で、1万６０００人の来場を見込んでいる。

ハイテクが福井に集結

出展250小間、会場ぎっしり

毎年１万6000人前後の来場者でにぎわう（2017年の北陸技術交流テクノフェア）

福井商工会議所、北陸経済連合会、ふくい産業支援センター、北陸電力など12団体・企業による技術交流テクノフェア実行委員会が主催。今回の出展規模は１７６社・団体、２５０小間（前回実績１７２社・団体、２３５小間）。

予定小間数が満杯で、あふれる企業も出た。北陸エリアの企業が5社・12小間増え、また北陸外からの参加意欲も根強い。

目玉の特別企画展のテーマは「テクノロジーが創る未来の暮らしと働き方」。省力化の機器・システムや人工知能（ＡＩ）商品など、22の企業・団体が持ち寄る。

大学は石川県の金沢工業大学と公立小松大学が新鮮な顔ぶれ。金沢工大は11年ぶりの出展で、春に開設した白山麓キャンパス（石川県白山市）の実証設備などを、新規開学の公立小松大は生産システム科学部、臨床工学科をそれぞれＰＲする。

恒例の大手企業トップの記念講演会は25日13時半から、川崎重工業の金花芳則社長が登壇。ロボットやクリーンエネルギーの水素技術について話す。

また、福井では２０１９年に大規模な宇宙国際会議「宇宙技術および科学の国際シンポジウム（ＩＳＴＳ）」が開かれる。福井県は同年６月15―21日の会期を中心に各種事業を計画し、今回もテクノフェア隣接で「宇宙博ｉｎ ふくい」を予定。26日13時半から、宇宙産業の現状と未来をテーマに三菱重工業の技術者によるセミナーを開く。

◇ ◆

両日は県産業会館への足として、８時―15時に30分おきにＪＲ福井駅東口から無料バスが出る。

メッセージ

技術交流テクノフェア実行委員会
会長 川田 達男

本年も北陸技術交流テクノフェアを関係各位のご協力のもと、開催する運びとなりました。これもひとえに皆さまのご支援ご協力のたまものと厚く御礼申し上げます。

さて当フェアは、販路開拓・産学官連携を目的とする北陸最大級の総合技術展示会であり、今年で29回目を迎えます。本年は全国から176社・団体が一堂に集結し、優れたモノづくり技術を披露します。

特別企画展は「テクノロジーが創る未来の暮らしと働き方」をテーマに、自動化や省力化といった、私たちの仕事を支え、共存し、暮らしを豊かにする新たな技術を集め、デモンストレーションを交えて紹介します。

また記念講演会には、総合エンジニアリングメーカーである川崎重工業の金花芳則社長を講師に迎え「川崎重工業が目指す未来、ものづくり企業の可能性」をテーマに、人口減少時代に対応した産業用ロボットの活用や水素関連技術などについて講演をいただきます。

そのほか、最先端の情報通信技術（ＩＣＴ）を紹介する「ふくいＩＴフォーラム２０１８」を同時開催し、フェア全体を盛り上げます。

ぜひこの機会に当フェアへ足を運んでいただき、新たなビジネスチャンスの発見と技術連携の拡大強化にお役立ていただければ幸いです。

優れたモノづくり技術を披露

見どころ①
地元の代表的な技術をまずチェック

㊤セーレンの「クオーレ」を用いた自動車シート㊦天井面に敷設したフクビ化学工業の制振材「サイレントドロップ」

セーレンは合成皮革素材「クオーレ」を出展する。自動車シート材は同社が世界シェア首位を誇る事業で、04年に販売開始したクオーレはその看板。「本革を超えた」との評価を得て、現在では日系自動車メーカーが軒並み採用し、海外メーカーにも広がっている。18年3月に福井県が福井県科学技術大賞を贈った。「今回は受賞後に地元で披露する初の場」（セーレン）。

独自のポリウレタン樹脂、繊維基材などの新技術で、耐摩耗性、ソフトな触感。さらに製造過程で有機溶剤の使用が半分、二酸化炭素（CO_2）の排出量が65％減と環境に優しいのが売り物だ。

フクビ化学工業の制振材「サイレントドロップ」は、集合住宅の音問題を新発想で軽減する商品。マンションなど建物の天井裏に樹脂を詰めた袋を乗せて施工することで、歩行や飛び跳ねによる階下への衝撃音が大幅に減らせる。

再生樹脂を原料に、不規則サイズの粒にして袋詰めしたシンプル仕様。その粒が衝突や摩擦する効果で、天井からの振動エネルギーを吸収する。改修工事でも敷設しやすい。従来の床版コンクリートを厚くする解決法と比べ、建物にかかる負荷、作業者の負荷も軽減される。

見どころ②
初出展企業のユニークな商品が見逃せない

轟産業のブースに出品する興研の「テーブルコーチ」

轟産業（福井市）は工場設備のエンジニアリング・商社の老舗だが、今回が初出展。目玉として持ち込むのは興研の製品「オープンクリーンシステム」。清浄気流をつくる独自ユニット装置がミソで、装置を対向して設置すると工場や研究室で部分的にクリーンルーム環境をつくれる。テーブル上をクリーン環境にする「テーブルコーチ」などを展示する。

建設工事なしで「工期が短く、電力消費量も抑えられるのもメリット」（轟産業）という。

寺尾特電産業（同）はビルや病院などの非常用発電機での新提案を予定。非常用発電機は6月から国の試験証明書制度が始まったが、現状は未周知の事業所が少なくない。専門のノウハウをアピールする。

ノーステック（同）は駐車場システム製品で主力の一つ、ロック装置がないフラップレス型の新機種を出展。降雪にも強い新センサーを搭載した。精算機では表示画面を大型化、データ保持量が多い新機種を披露する。

クイックアート（同）は各種布地に、文字や絵柄を手軽にプリントし転写するシート製品を出展。2月に売り出したパウダープリントは、文字や図柄だけを型抜き転写できる。アパレル展などのＰＲで関心を集めている。

見どころ③
福井の異業種連携のアシストスーツも要注目

福井の異業種連携で開発した腕固定用アシストスーツ

特別企画展では、産業機械メーカーのシマノ（福井県鯖江市）が福井県工業技術センターを含む異業種連携で製作した腕固定用アシストスーツを披露する。

手術が長時間にわたる医師の負担軽減ニーズを受けて開発したものだが、18年から各種の展示会に参加すると自動車整備の現場用など、思わぬ引き合いがあるという。

腕固定の機能に手応えを得ており、今後は仕様の標準化によるコスト低減を目指している。「メードイン福井にこだわりがある。出展で地元から新たな知恵をもらいたいし、会場に来る地元の学生にも興味を持ってほしい」（嶋野寛之シマノ社長）という。

人が基本。
ユーザーとメーカーと当社の歯車がしっかりかみあった工業技術専門商社。
轟産業株式会社
本社／福井県福井市毛矢3-2-4 TEL.0776-36-5520 FAX.0776-36-1022
支社・支店・営業所／福井・東京・大阪・名古屋・新潟・静岡・京都・富山 他35ヵ所